平成３０年度発注企業実態調査結果【概要】

【調査概要】

1　**調査目的**‥‥‥‥‥県内発注企業の生産動向，外注利用状況等を把握することにより，
下請振興施策の推進に資する。

2　**調査対象**‥‥‥‥‥県内の発注企業４３０事業所

3　**調査方法**‥‥‥‥‥郵送によるアンケート方式

4　**調査時点**‥‥‥‥‥平成３０年７月１日現在

5　**回答状況**‥‥‥‥‥回答企業　１４４社（回収率３３．５％）

【調査結果の概要】

◆生産の現況・今後の見通し　**～引き続き回復傾向が窺え，今後も増加の見込み～**

図１「生産の現況」については，「増加」と回答した企業の割合が40.5％と最も多く，回復傾向が窺える。一方で「減少」と回答した企業の割合は昨年に比べ6.6ポイント増加し，21.0％と企業間での格差も垣間見える。

図２「今後6か月先の生産見通し」については，「横ばい」と回答した企業の割合が54.6％と最も多く，また，「増加」と回答した企業が31.2％となっていることから，8割を超える企業で現状維持ないし増加を見込んでいる。

図１「生産現況」：Ｐ３から

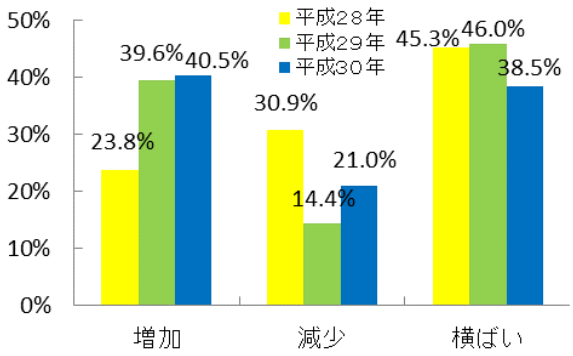
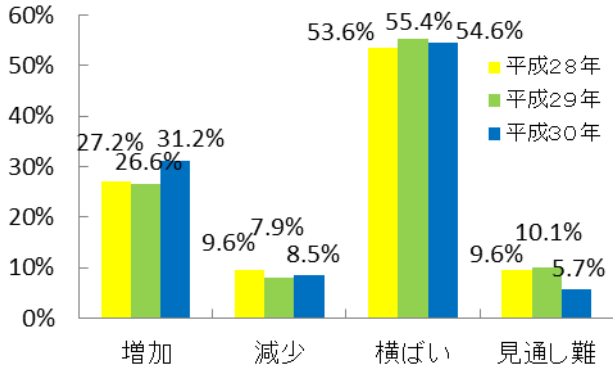


図２「今後６か月先の生産見通し」：Ｐ３から



◆　経営課題・人材不足　**～最大の経営課題は人材確保，不足している職種は製造～**

図３「貴社における最近の経営課題」については，「人材確保」と回答した企業の割合が80.9％と最も多い。

図４「人材が不足している職種」としては，「製造」と回答した企業の割合が83.2％と最も多い。

図３「貴社における最近の経営課題」：Ｐ１７から

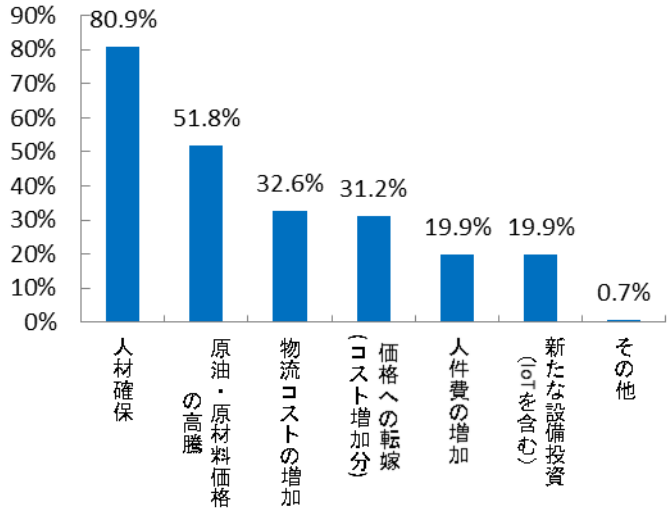
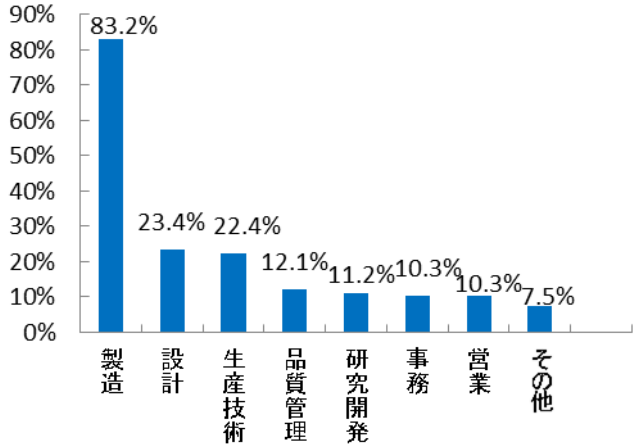



図４「人材が不足している職種」：Ｐ１８から